

てっこうきでん

TEKKOKIDEN

(一社)石川県鉄工機電協会
TEL (076)268-0121
URL <https://www.tekkokiden.jp>
題字/会長 中村 健一

令和4年度業界振興懇談会（第24回）開催

9月2日(金)金沢東急ホテルにおいて、馳知事及び県商工労働部幹部の方々をお招きし、中村会長はじめ協会の役員、並びに各地域・業種の代表者62名が一堂に会し、業界振興懇談会を開催しました。中村会長、馳知事の挨拶の後、代表2名の方々より業界が直面する課題を知事に説明要望し、それぞれに見解をいただきました。



（中村会長あいさつ要旨）

今回で24回目となりますが、新型コロナウイルスと先月の大雨被害の対応に大変お忙しい中、ご出席いただけましたことに改めて感謝申し上げます次第でございます。

この5月に3年ぶりに開催できました「機械工業見本市 MEX 金沢」の会場である産業展示館の改築につきましては、これまでも本懇談会で要望しておりましたが、8月25日には「西部緑地公園再整備構想検討委員会」および「新産業展示館整備検討部会」の初会合が開かれ、再整備プロジェクトがスタートしたことを実感しております。展示規模や機能について日本海側随一となる施設を早急に整備していただきたくお願いいたします。

本県経済は、原材料価格の高騰やロシアによるウクライナ侵攻の影響によるエネルギー問題などのなかであって、私ども業界においては「人材不足」がふたたび問題となっております。

このような状況下であります、これからも我々モノづくり業界が継続・安定して成長することにより、地元・地域の発展に尽力できますよう、県行政の力強いご支援をお願い申し上げます次第です。



（馳知事あいさつ要旨）

当懇談会は、石川県の経済界をリードしておられる鉄工機電協会の皆さんと、様々な課題について意見交換されてきたのだと思っております。そういった意味では、選挙の時から申し上げていましたように石川県成長戦略会議においても、各界の代表者等にご参加いただいて、将来の石川県の経済の在り方、産業の在り方を議論していきたいと考えております。



どこへいっても人手不足と言われておりますが、石川県の産業界の振興を若い専門性のある人材を育て、石川県で働き、家庭を持ち、子を育てるというサイクルを回していきたいと思っております。

先般、中小企業庁、中部経済産業局、中小企業基盤整備機構との間で、全国初となる伴走支援に関する連携協定を締結し、県と国がタッグを組んで、伴走支援をより一層充実する体制を整えました。

皆さんの持つおられる独特な技術、海外の販路の拡大、新たな商品の開発、デジタル化などの支援により、全国のトップランナーに石川県がなれるように取組んでいきたいと考えております。

【CONTENTS】

令和4年度業界振興懇談会開催	ビジネスサポートスクール.....4
会長・知事あいさつ.....1	県9月補正予算について.....5
要望内容・講演要旨.....2	D.I調査（R4.7-9月期）.....6
協会トピックス	研修スケジュール 協会スケジュール.....7
新分野進出・環境委員会合同視察会.....3	青年部会だより.....8
デジタル化推進委員会「てっこうきでんDXミーティング」.....3	会員企業トピックス.....8
自動化・省力化の推進に係る事業の実施.....3	会員情報.....8
モノづくり人材育成対策事業.....4	

回										
覧										

要望1. モノづくり産業支援施策（特に人材の確保）の実施について

新分野進出委員長 水越 裕治氏（㈱アクトリー代表取締役社長）

我々、鉄工機電業界は、県の基幹産業として着実にその存在感を高め、この6月には、協会創立60周年記念式典を無事に開催できたが、今日、会員企業の最大の悩みとして、「人材不足」が継続している。

県では、「第2期いしかわ創生総合戦略」に基づき、様々な施策を実行しているが、これまで以上に、県内大学卒業生の地元定着と県外大学卒業生のUIターンの増加施策が必要であり、県内大学および県外協定大学との連携による事業展開を今以上に強化していただきたい。加えて、県内企業に就職する個人に対するインセンティブの創設なども地元定着率の向上に有効と考えるものであり、ご検討いただきたい。

<答弁要旨>

産業人材の確保については、重要な検討課題の1つととらえ、現在の「産業成長戦略」に基づいて実施している各施策をしっかりと検証した上で、更なる飛躍・発展につながる施策を検討していく必要があると考えている。学生の県内就職を促進するために、県内外の大学とも連携しながら、学生と県内企業のマッチングの場の提供を積極的に行っている。また、県内企業就職者へのインセンティブについては、平成28年度に「石川県ものづくり人材奨学金返還支援助成制度」を創設し、理系大学院を修了して県内ものづくり中小企業に就職した方を対象に、奨学金の返還助成を行っているが、助成の対象を拡大するなど、どのようなことができるか検討していく必要があると考えている。



要望2. 産業展示館の再整備の在り方について

見本市委員長 正田 正一氏（正田産業㈱代表取締役会長）

産業展示館1～3号館の改築整備については、令和元年の業界懇談会で初めて改築要望をさせていただいたが、今年度当初予算において、構想策定費の予算が計上され、8月には、再整備に向けた議論がスタートしている。

MEX金沢には、北陸新幹線金沢開業と相前後して、関東、関西等の企業から出展申し込みが殺到しており、キャンセル待ちが年とともに増加していることから、展示面積の拡大と利便性の向上を図っていただき、全国にも誇れる最新の展示施設となるようお願いしたい。

また、新産業展示館の整備は、県産業界全体の悲願であり、出来る限り早期の完成をお願いしたい。併せて、再整備期間中でもMEX金沢が継続開催できるようにご配慮いただき、駐車場不足や、園内の渋滞緩和に向け、例えば、周辺道路に直結した立体駐車場の整備についてもご検討いただきたい。

<答弁要旨>

西部緑地公園の再整備については、整備指針となる構想の策定に向けて、8月末に西部緑地公園再整備構想検討委員会を立ち上げ、第1回目となる検討委員会を開催したところである。また、単体でも大規模施設となる産業展示館、県立野球場については、それぞれ、別途検討部会を設置し、施設規模や機能などを検討することとしている。

ご要望いただいた、できる限りの早期完成については、一日も早く整備したいと考えており、これから40～50年という長期にわたって利用していくことを前提に、新しい時代に相応しい役割や機能を備えた施設となるよう、民間活力も導入しながら、しっかりと取り組んでまいりたい。

また、再整備期間中でも「MEX金沢」を継続開催したいというご要望も踏まえ、今後も皆様のご意見をお聞きしながら、配置計画はもとより、スケジュール、整備方法等についても、検討してまいりたい。



講演「ものづくり企業にとってのDXと生産性向上」

講師 杖村 修司氏（㈱北國銀行代表取締役頭取）

DXを全社改革と捉え、企業文化やポリシーを踏まえた上で、会社全体としてシステムとどうつきあっていくかといった自社のシステム戦略を議論して、作って、実行していくことが重要である。また、そのシステムを運用していくシステム人材の確保・育成も同時に進めていくことが必要であり、システムと人材育成の両輪をいかにして回していくことがDXを成功させるカギである。



新分野進出・環境委員会合同視察会

開催日：令和4年7月20日(水)

視察先：コマツ栗津工場

参加者：14名

コマツ栗津工場では、溶接ロボットや自動塗装ロボットによる自動化への取り組み、地下ピットを活用した組立ラインの合理化、そして生産設備のデータを収集、見える化による、ムリ・ムダ・ムラの削減を図るシステム「COM-MICS」の開発など、様々な手法により生産性の向上に取り組んでいます。

また、環境に対する取り組みも積極的に行っており、木質バイオマスボイラシステムでは、蒸気ボイラ4台、温水ボイラ2台の稼働により、電力量約70万kWh/年、重油約100万ℓ/年、CO₂約3,000t/年の排出削減をしています。なお、木質バイオマスボイラで使用する木質チップは地産地消であり、地元森林組合や業者と協業することで林業の活性化や、地元活性化にも貢献しています。



デジタル化推進委員会「てっこうきでんDXミーティング」

開催日：令和4年7月22日(金)

開催場所：石川県地場産業振興センター本館 大ホール

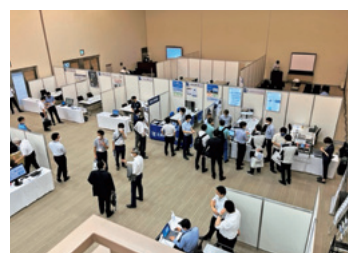
出展企業数：16社 協力出展2団体

来場者数：135名

デジタル化推進による生産性の向上を図るため、デジタル化導入を模索するものづくり企業と、各種デジタル化ツールを製品として扱う企業が一堂に会するマッチングフェアを開催しました。

生産管理システムや事務作業を効率化するデジタル化ツールを展示・紹介するブースの設置や、出展企業12社による製品・サービス紹介のプレゼンテーションを実施しました。

来場者は、デジタル化導入に関する情報収集や具体的な商談のため、各ブースの担当者の説明に熱心に耳を傾けていました。



第2回「てっこうきでんDXミーティング」は令和4年12月7日(水)
石川県地場産業振興センター 本館 大ホールにて開催いたします。

自動化・省力化の推進に係る事業の実施

ロボットSI基礎講座

開催日：令和4年9月27日(火)～29日(木)

開催場所：金沢市ものづくり会館

参加者：29名

ロボットシステムインテグレーション業務においてどのような知識が必要とされるかを学ぶため、3日間にわたって座学研修を行いました。

1日目は自動化のための基礎となる生産技術や安全の知識、2日目は機械設計、電気制御、ロボット制御といったエンジニアに必要とされる知識について講義を受け、3日目はグループワークで実際にロボットシステムの構想設計を体験しました。受講者にはFA・ロボットシステムインテグレータ協会より修了証とロボットSierの基礎知識保有者として公式エンブレムが交付されました。



モノづくり人材育成対策事業

★工業高校教員現場研修

最新の産業設備・機器の活用状況やそれに必要な技術を知る研修を通して、生徒の学習指導や進路指導に必要な知識を身に付け、指導力の向上を図ることを目的に、今年度初めて、工業高校教員の現場研修を実施しました。

各地区4名の教員が、工場内で実際に機械を使って加工する様子を説明を受けながら見学し、経営陣から「工業高校や高校生に求めること」等の話を伺いました。

参加した教員からは「歴史もありつつ、最新の技術も取り入れることで、さらなる生産性を生み出していると感じた」、「技能も大事だが、社会に出て通用する「人間性」も同時に育成しなければいけないと感じた」などの声が寄せられました。研修を受け入れていただいた企業からは「教員に現場をみていただく良い機会となった」との声をいただきました。

月 日	地 区	見学先
8月2日(火)	金沢地区	(株)ヒガシヤマ、松本機械工業(株)
8月2日(火)	金沢地区	(株)明石合銅、土肥研磨工業(株)
8月4日(木)	能登地区	岡田研磨(株)、(株)ヨシダセイコー
9月12日(月)	加賀地区	(株)板尾鉄工所、長津工業(株)



★中学生のモノづくり企業見学会

開催日：令和4年8月25日(木)

見学先：中村留精密工業(株)

参加者：中学生14名、教員2名

中学生とその保護者及び教員を対象にモノづくり企業を理解してもらい工業系高校への進学を促すことを目的とした工場見学会を3年ぶりに開催しました。

中村留精密工業(株)では、部品の製造から組立までを見学、質疑応答では「デジタル化が進む一方で、人にしかできない事もある」や「生徒の皆さんは何か1つ興味を持ち、それをどんどん伸ばしていただきたい」など、お話いただきました。

見学した生徒からは「世界トップクラスの技術が石川県にあることを知った」、「今後の進路の参考になった」などの感想が寄せられました。



ビジネスサポートスクール（Webセミナー）

開催日：令和4年9月30日(金)

総受講者：15名

テーマと講師：「石川県の事業承継の現状」

石川県事業承継・引継ぎ支援センター センター長 多田 久俊氏

「日本公庫の事業承継のマッチング支援」

日本政策金融公庫金沢支店 国民生活事業 融資第二課長 上野 洋氏

多田センター長より「経営者の高齢化が進んでいるが、事業承継を何から進めて良いかわからないという経営者の入り口から対応する。センターは公的な機関であり、センターでの相談については無料である。事業承継・引継ぎ支援データベースでは全国規模で4万件の登録がある。事業承継は早期着手が大事。センターを活用し、一歩を進めてほしい」とのことでした。

また、上野課長からは「資金面での支援策として「事業承継・集約・活性化支援資金」があり、株式や事業用資産を取得する資金や、事業承継計画実施する際の融資等を実施している。民間のマッチング事業者では対象となりにくい、小規模事業者のマッチング支援を実施している。譲渡、譲り受けいずれも無料で対応しているので、是非活用してほしい」とのことでした。

令和4年度県9月補正予算等の支援施策【主な事業をご紹介します。】

中小企業庁等との連携協定による伴走支援体制の強化

県では、コロナや原油・原材料高で事業者が厳しい状況にある中、専門家の派遣や、支援機関の機能強化等を行なってきましたが、このたび、中小企業庁等（中小企業庁、中部経済産業局、中小企業基盤整備機構）と、石川県との間で、全国初となる「伴走支援」に関する連携協定を締結し、国・県が一体となって、今まで以上に事業者に寄り添った伴走支援に取り組めます。

効果的な取り組みを実施

- | | |
|--|---|
| ▷ <u>国・県・支援機関による連絡会議の開催</u>
（伴走支援の事例やノウハウを共有） | ▷ <u>事業者向けセミナーの開催</u>
（国・県・支援機関から有益な情報を提供） |
| ▷ <u>特別アドバイザーの派遣</u>
（国から高度な知見を有する専門家を派遣） | ▷ <u>支援機関職員の更なる資質向上</u>
（国による出張講座等の開催） |

お問い合わせ先：石川県商工労働部経営支援課経営支援グループ 076-225-1525

経営力強化総合支援アドバイザー派遣事業費

資金繰りなど足下の対策から、早期の業績回復や将来の成長に向けた取り組みへのアドバイス等、各分野の専門家が企業の状況に応じた適切な助言を行います。

9月補正予算でこれまでの支援内容を拡充しました。

【令和4年度当初および6月補正予算における支援内容】

回数：コロナや原油・原材料高の影響を受ける企業は上限なし（その他企業は3回まで）
派遣枠：5,000回

【9月補正予算における拡充内容】

- ・ 下記、対象の事業者に対し、専門家派遣の上限回数を「無し」とする。
 - ① 8月豪雨災害により被災した事業者（罹災、被災証明書等を提出）
 - ② 賃上げを行う事業者（1年以内の賃上げ実施を盛り込んだ経営計画を提出）
- ・ 派遣枠を1,000回追加し、年間派遣枠6,000回に拡大

お問い合わせ先：お近くの商工会、商工会議所、ISICO、県中小企業団体中央会、県信用保証協会（支援機関）
または、石川県商工労働部経営支援課経営支援グループ 076-225-1525

省エネ設備緊急支援事業（3次募集）

原油等エネルギー価格の高騰が長期化する中、燃料や電力の消費抑制によるコスト削減が喫緊の課題となっていることから、省エネ性能に優れた設備更新等を支援します。

補助内容：省エネ設備の更新等を行うために必要な経費の補助（機械装置等）

対象企業：県内に主たる事業所を有する中小企業等

補助金額：最大6,000千円 補助率：1/2 募集件数：20件程度

公募期間：9月議会閉会后～10月下旬（予定）

取り組みイメージ

- 機械装置の動力源となるエアコンプレッサーを使用状況に応じた制御ができる省エネ型に更新



- 温泉の熱源に利用している重油ボイラを、ヒートポンプを組合せた高効率なボイラシステムに更新



お問い合わせ先：（公財）石川県産業創出支援機構 プロジェクト推進部 次世代産業支援課 076-267-6291
石川県商工労働部産業政策課競争力強化推進グループ 076-225-1512

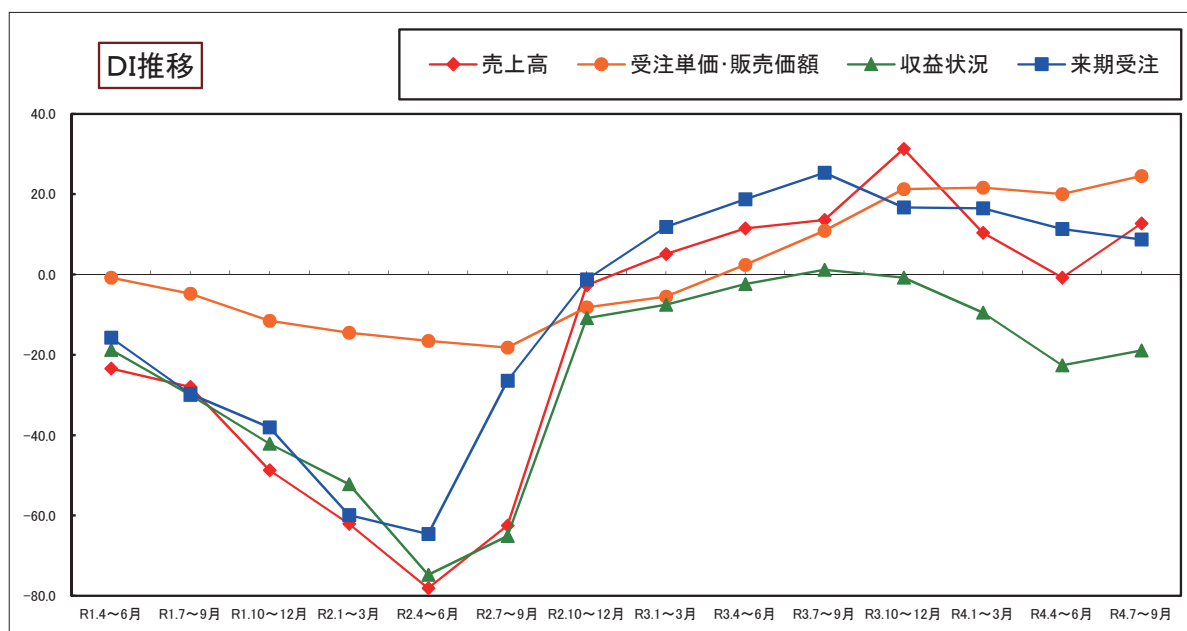
DI調査結果（令和4年7月～9月期）

概況総括：『原材料価格の高騰による収益逼迫や部品・材料の供給不足に

留意する必要があるが景況感は改善傾向にある』

【調査概要】

1. 今期（令和4年7月～9月期）の業況調査DI12項目では、「売上高」など6項目がプラス、「収益状況」など6項目がマイナスとなり、9項目が改善している。
2. 現在の経営状況を示す「売上高」から「生産設備」までの9項目では、
 - (1) 景況感を端的に表す「売上高」は、12.7（前回▲0.8）と1期でプラスに転じたが、依然として部品不足等で生産計画に影響が出ている。また、原料高や需要増等によって高騰が続いている「原材料価格」が多少改善しながらも▲79.6（前回▲85.4）と依然として高値で推移しており、「収益状況」▲18.9（前回▲22.6）に影響が出ている。
 - (2) 現場の繁忙さを表す指標では、「操業率」4.4（前回2.8）、「受注残」19.6（前回8.7）、「生産設備」17.1（前回13.3）と、改善が見られた。
3. 来期については、「来期受注」8.7（前回11.3）と引き続きプラスで推移しているが、「来期採算」▲11.5（前回▲10.5）「来期資金繰」▲7.2（前回▲8.7）とマイナスであり、部品入手困難による生産調整や原材料価格の高騰による影響が引き続き見受けられる。
4. 「企業経営上の悩み」については、「原材料価格」にかわって「人材不足」が27.3（前回23.8）とトップになった。原油価格や原材料価格の高騰等の懸念材料があるが、受注残等による人材不足が不安材料となっている。
5. 景況感は改善傾向にあるものの、依然としてロシア・ウクライナ問題等の影響による鋼材・エネルギー関連の高騰で収益状況が逼迫してきている。加えて、部品・材料の供給不足による生産調整を余儀なくされており、先行きは不透明感が強い。



令和4年度 10月以降の研修スケジュールのご案内

※ホームページからもお申込みいただけます。

<https://www.tekkokiden.jp>

「きでんスクール」

開催日（予定）	テーマ	受講料	定員
10月7日(金)	製造現場で進めるコスト改善	3,000	30
10月21日(金)	安全活動の進め方	3,000	30
11月11日(金)	ムダの発掘と改善	3,000	30
11月25日(金)	なぜなぜ分析で品質改善	3,000	30
12月16日(金)	5Sで仕事のやり方を変えよう！	3,000	30
1月20日(金)	女性社員のためのキャリアアップセミナー	3,000	30
2月17日(金)	若手社員レベルUP教育	3,000	30
3月10日(金)	ネクストリーダー研修	3,000	30

「技能継承スクール」

開催日（予定）	テーマ	受講料	定員
10月4日(火)～7日(金)	旋盤加工技術	6,000	12
10月5日(水)～6日(木)	半自動アーク溶接技能クリニック	7,500	10
10月17日(月)～20日(木)	旋盤加工応用技術	6,500	12
10月25日(火)～28日(金)	フライス盤加工技術	7,000	10
11月8日(火)～9日(水)	精密測定技術（計測器管理技術編）	4,000	6
11月15日(火)～16日(水)	精密測定技術（計測器管理技術編）追加講座	4,000	6
11月17日(木)～18日(金)	精密測定技術（歯車・三針法などの特殊測定）	3,000	12

※開催日は予定であり、延期または中止となる場合もあります。

令和4年度 協会スケジュール

開催日	内 容
会 議	
11月4日(金)	人材育成委員会
11月28日(月)	広報・情報委員会
R5年1月26日(木)	正副会長会議、理事会

行 事	
10月6日(木)～8日(土)	METALEX VIETNAM2022出展（ベトナム・ホーチミン）
10月7日(金)	デジタル化推進サポートスクール（㈱小林製作所見学）
10月12日(水)～13日(木)	環境委員会・新分野進出委員会合同視察会（兵庫県淡路市）
10月27日(木)	経営技術指導委員会・人材育成委員会合同視察会（福井県福井市）
11月16日(水)	デザインセミナー
11月16日(水)～19日(土)	METALEX2022出展（タイ・バンコク）
11月22日(火)	第58回功労者・永年勤続者表彰式
11月24日(木)～25日(金)	新分野進出委員会・デジタル化推進委員会合同視察会（福島県南相馬市）
12月7日(水)	工業系高校教員&モノづくり企業との懇談会
12月7日(水)	てっこうきでんDXミーティング（石川県地場産業振興センター本館 大ホール）
R5年1月26日(木)	令和5年新年会員懇親会

金沢工業大学視察研修会

開催日：令和4年7月5日(火)

視察先：金沢工業大学

参加者：27名

県内大学との連携強化を図ることを目的に、金沢工業大学の取組みについて説明をお聞きし、その後意見交換や扇が丘キャンパスの見学をしました。



大学より「本学は、学生－大学－企業が連携し、学生のみならず、社会人も大学で共に学びながら、新たな産学協同による人材育成「^{*}コーオペ教育」に力を入れ、地方創生と社会実装プロジェクトに取り組んでいる」との説明を受けました。

また、キャンパス内では、学部や学科、文理の枠を超えたイノベーション創出の為にクラスター研究室など、学生の能力を最大限に引き出すための施設の充実ぶりが伺えました。

(※大学のカリキュラムと、これと同レベルの高い完成度の教育価値を持つ就業体験)

会員企業トピックス

令和4年度プレミアム石川ブランド製品／グッド石川ブランド製品に会員企業が認定

県内中小企業が開発・改良した製品で、特に新規性や独自性が優秀で、ブランド化ができる可能性が高いと認められる「プレミアム石川ブランド」(最優秀賞)、「グッド石川ブランド」(優秀賞)に次の会員企業が選ばれました。

受賞区分	企業名	受賞製品等
プレミアム石川ブランド	松本機械工業(株)	Smart Terrace AIO
グッド石川ブランド	(株)東振テクニカル	CNC心なし研削盤 TO-6040T-FC-TF

i 会員情報 令和4年9月15日までに寄せ頂いた内容を掲載しています。

◆代表者の変更

組合名	新代表者	会社名	新代表者
(一社) 加賀機電振興協会	佐藤龍吉	轟産業(株)金沢支店 (株)PFU	山本高士 村上清治
会社名	新代表者	FUJITSU UT(株)	家山 満
アイナックス稲本(株)	米田 剛	北陸スチール(株)	大村義高
(株)ザクシスヤズ	矢津賢介	前川精工(株)	前川隼也

◆社名変更

新社名	旧社名
ニデックオーケーケー(株)北陸営業所	OKK(株)北陸営業所

◆住所変更

会社名	新住所	TEL/FAX
(株)ISS リアライズ	金沢市昭和町 16-1 ヴィサージュ 12 階	076-264-3617/076-264-3619
(株)イコマ・メカニカル	金沢市打木町東 2002 番地	076-249-4180/076-249-4750